

平成30年9月19日

那須烏山市議会議長 沼田邦彦 様

経済建設常任委員会委員長 平塚英教

### 決算審査結果報告書

本委員会に平成30年9月10日に付託された事件は、審査の結果、次のとおり決定したので、那須烏山市議会会議規則（平成17年10月那須烏山市議会規則第1号）第109条の規定により報告します。

#### 1 審査期日

平成30年9月11日（火）及び12日（水）

#### 2 審査場所

那須烏山市役所 南那須庁舎 議員控室

#### 3 出席委員

平塚英教、村上進一、荒井浩二、渋井由放、沼田邦彦、中山五男

#### 4 説明のための出席者

農政課長 菊池義夫、商工観光課長 小原沢一幸、環境課長 小林貞大、  
都市建設課長 小田倉浩、上下水道課長 佐藤光明、他関係職員

#### 5 審査事項

本委員会の所管する農政課、商工観光課、環境課、都市建設課、上下水道課及び農業委員会の平成29年度那須烏山市の一般会計、特別会計及び水道事業会計の歳入歳出決算

#### 6 審査結果

本委員会が付託を受けた一般会計、特別会計及び水道事業会計の決算については、全会一致で原案のとおり認定すべきものと決定いたしました。ただし、次のことについて要望し、意見を付することとします。

##### **農政課**

- ・国の農業行政が大きな変革期を迎えている中で、本市の農業は担い手不足や耕作放棄地の増大など多くの課題を抱えている。これらの解決に向け、新制度での農業委員と農地利用最適化推進委員に期待するところは大きいですが、さらに市農政課、農業公社、新たに設立されたアグリ那須烏山、農協、生産団体など関係各所で連携し合いオール那須烏山体制で取組まれることを期待する。
- ・市のブランド認証制度第1号として認証され、その後の販路拡大、市の知名度向上への貢献が大いに期待された中山かぼちゃだが、現在、肝心の生産者の不足が懸念され

ているとのことである。農協等の関係団体との連携を密にし、新規の生産者を確保されたい。また、第2、第3の認証を受けられるような潜在力のある農産物や加工品の掘り起こしに努められたい。

### **商工観光課**

- ・例年実施しているプレミアム付商品券発行事業だが、消費の喚起による市内経済の活性化という本来の目的は達成されていないように感じる。漫然と前年並みの事業展開をすることなく、商工会と調整し、事業の趣旨に沿った成果があがっているか検証されたい。検証の結果、成果があがっていないと判断されるときは、抜本的な見直しも考慮されたい。
- ・市では、商工観光課が所管するものに限らず、様々なイベントが行われている。その中には市外からの誘客が見込めるものも多くあるが、市内の連携が不足しているため、せっかくの機会が活かせていないように見受けられる。観光イベントはもちろん、あらゆるイベントで十分に連携を図り、積極的な誘客を行った上で、お越しいただいた方の満足度を上げ、リピーターを増やす努力をされたい。一方で、本市の観光産業は現状では多くの収益が見込める構造となっていない。市観光振興ビジョンで目指す「稼げる観光」への転換を強く推し進められたい。

### **環境課**

- ・市には、ごみの減量化、ごみステーションの使用マナーの向上、ペットの糞害対応など環境に関する大小多くの課題が山積している。これらの課題は、市を美しく住みよい環境にするために様々な責務を市や市民等に課した「美しく住みよい環境づくりに関する条例」の遵守により解決できるものとする。改めてこの条例の趣旨に立ち返り、行政、市民等一丸となって環境美化に取り組まれたい。

### **都市建設課**

- ・地籍調査事業に関し、調査を了している一部の地区で多額の費用をかけ再調査を実施しなければならない状況となっていることは誠に遺憾である。今後はこのようなことのないよう十分留意し、着実に事業を進められたい。なお、本件に関し地権者に対して十分な説明を行うとともに、地権者はもちろんのこと、その他の関係者にも不利益が生じることがないように丁寧な対応をされたい。
- ・市内の道路・橋梁の多くは、整備から30年以上経過しており、老朽化に伴う今後の費用負担の増加が心配される。計画的に早めの点検、補修を行うことで長寿命化を図り、トータルとしての費用を削減できるよう対策されたい。なお、市の財政状況が厳しい折、市単独での事業展開には限界がある。あらゆる可能性を探り、また、積極的に国・県への要望を行うなどし、財源確保に努められたい。

### **上下水道課**

- ・平成31年度に簡易水道事業は水道事業に統合され、企業会計として運営されることとなる予定である。今後、企業会計として一つになる水道事業はもちろんのこと、特別会計で経理されている公共下水と農業集落排水の両下水道事業についても、独立採算を意識し経営感覚を持って運営されたい。その上で、災害対策も考慮し、必要な上下水道サービスが安定して提供できるように長期的視点に立ち、施設の整備・管理を行われたい。